

いあつらひ



2011年度 40代理事長 本堂 政勝

社団法人小矢部青年会議所は年に一回、活動を広く知っていただくために広報誌を発刊しております。

今年度はスローガンに「歴史から未来へ 新たな飛躍へ限りない変化、己を信じて突き進め！」を掲げ、色々な事業を展開してまいりました。「資質の向上」を目的にした講師例会、地域の子どもたちを対象にした「心と体を育む」事業、地域のために何かできないかと考えた「斬新な」まちづくり事業など多くの事業を行ってまいりました。小矢部青年会議所は来年度40周年という節目の年となりますが、今後、ますます地域のために必要とされる存在になりたいと願い、自分を磨き、地域のために何ができるかと日々考え、運動に邁進してまいります。どうか今後、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小矢部青年会議所7月度例会は、クロスランドおやべのセレナホールにて、講師に元ノルディック複合代表の荻原次晴氏をお招きし、「次に晴ればそれでいい」～挫折から栄光へ 夢に向かって突き進め!～と題し、会場が満員になるほど多くの市民の方々にご来場いただき、講演会を開催いたしました。

講演では、キング オブ スキーと呼ばれた双子の兄、健司氏と



7月度例会

「次に晴ればそれでいい」

元ノルディック複合代表選手 荻原次晴氏



自分が世間から比べられ悔しい思いをした話や、世界を転戦した時の苦労話、子供の頃からの夢であるオリンピックへ出場することの難しさ、また出場した長野オリンピックでの大観衆の中で競技した事が一生忘れられず感動した話をご講演いただきました。

終始、講師の爽やかな笑顔で和やかな雰囲気の中、笑いあり涙ありと楽しい講演会でありました。来場された市民の方々に、夢や目標を持ってあきらめずに努力することの大切さを感じていただける事業となりました。

8月度例会

子どもの豊かな心と体を育む事業 「おやべ冒険クイズラリー」



事業は8月13日(出)・14日(日)の1泊2日で小矢部市内の子ども31名を7班に分けて小矢部市の10拠点でクイズに答えていってもらいました。

その他、恵林館ではキャンプテントの設営やカレーライス作り、そして野外のキャンプ宿泊体験、2日目は恵林館から親水公園(約6km)のウォーキングクイズラリー、親水公園では岩魚のつかみどり短い事業日程ではございましたが、たくさんの思い出づくりが出来たと思います。最後に津沢コミュニティプラザにてクイズラリーの表彰式、そして逆に子どもたちに小矢部に関するクイズを作ってもらい、十二分にふるさと



「小矢部」の良さを細部まで発見し、郷土愛を育めたと思いますし、普段あまり交流の少ない他小学校の子どもたち同士の友情や、我々青年との世代を超えた交流もすっかりと行え、思い出あふれる充実した事業となりました。

このふるさと「小矢部」に居ながらも歴史や文化、そして豊かな自然とふれあう機会は減少しています。

このことにより郷土愛が希薄になり、過疎化による地方の弱体化が進む原因の一つとなっています。

ふるさとの宝を活用し、子どもたちに小矢部の素晴らしさを発見してもらうことにより、郷土愛を育むことができます。

次代を担う子どもたちの郷土愛を育みたいと思い「おやべ冒険クイズラリー」を企画開催致しました。



10月度例会 「元気もりもり祭り」

～おらっちゃんの小矢部、
知るまいけ!!～

10月10日(月)、道の駅メルヘンおやべにて、「元気もりもり祭り～おらっちゃんの小矢部、知るまいけ!!～」を開催いたしました。当日は、天候も良く、多くの人で会場は賑わいました。

ステージでは、和太鼓演奏、とやま東西ラーメンバトル、小矢部ブランドの紹介など地域の魅力、地域特産品を発信。高原兄さんのライブでは、地元の子供たちもステージ上で一緒に踊るサプライズもあり、大変盛り上がりました。

ブースでは、このイベントで正式名称



を発表していただいた「おやべホワイトラーメン」をはじめ、小矢部の食材を使った食ブースに長蛇の列ができました。体験ブースとして、小矢部ブランドの展示やメルギューのぬり絵コーナーなども設けました。

今回、私達はこの事業を通して、市民と共に地域の魅力を学び、小矢部の素晴らしさを再認識しました。また、行政や他団体と連携して、互いのまちづくりに対する想いを共有し、まちづくりに対する意識を高めることができました。未来を担う子ども達が、夢や希望を抱き続けるまちを目指し、今後も活動していきたいと思えます。



東日本大震災 支援

小矢部青年会議所では3月に発生した東日本大震災をうけ、被災地支援として
・富山県が岩手県陸前高田市へ派遣するボランティアチームにメンバー派遣
・建築士会砺波支部と合同で福島県でボランティア協力
・義援金の供出
等を行いました。なかでも特に、人的支援として被災地へ赴き津波被害の片付け



などに協力したことは、現地を見、被災された方の声を直接お聞きしたことでメンバーにとっても貴重な経験をさせていただきました。あまりにも大きな被害の中で、現地の方々の復興への強い想い、全国各地から集まった様々な形の支援の輪を前に、支援に赴いた我々のほうが逆に勇気づけられる思いでした。被災された皆様にお見舞い申し上げますと共に、1日も早い復興、復旧をお祈り申し上げます。



私たち小矢部青年会議所は自分を高めるため活動しています。

私たち小矢部青年会議所は「おやべ愛」の心を持って活動しています。

私たち小矢部青年会議所はお互いに刺激し、切磋琢磨するため活動しています。

ご意見、ご要望、ご不明な点がございましたら、EメールまたはFAXでお問い合わせください。ホームページもご覧ください。

小矢部JC

検索

クリック!

今年行った主な活動

2月度例会

演題

「輝くリーダーとなるために」
～自らを変える
コミュニケーション能力～

講師 エモーショナルデザイン代表
武田 和久 氏



3月度例会

演題

「輝くリーダーとなるために」
～人を活かす 人を動かす
人を変えるコーチング能力～

講師 office よしとも代表
吉友 嘉久子 氏



4月度例会

演題

「地元愛から生まれるまちづくり」
～おらっちゃんのまち小矢部、
いいがにせんまいけ!～

講師 みなさまの縁をとりもつ隊代表
土橋 克己 氏



5月度例会

「第27回わんぱく相撲おやべ場所」

実施場所 小矢部市ふるさと博物館 常設土俵



【わんぱく相撲全国大会】

7月31日 両国国技館

ベスト16 4年生の部
柴田 利樹 君(津沢)

2012年度 新入会員募集

社団法人小矢部青年会議所では、明るい豊かな社会作りと個人の成長のため、日々活動していますが、一緒に活動する仲間を募集しています。

小矢部市またはその隣接市町にお住まいか勤務されている満20歳から40歳までの方が対象です。ぜひ、一緒に活動しませんか?

発行

社団法人 小矢部青年会議所

編集

総務・広報委員会

〒932-0053 小矢部市石動町1-20

TEL.0766-67-4580 FAX.0766-67-6550

E-mail: info@oyabejc.com

HP http://www.oyabejc.com/